令和三年十一月五日（金）

午前十二時三十分開場・十三時開演

2021 鎌倉市民文化祭参加

第二十八回

鎌倉謡曲連盟

謡曲と仕舞のつどい

於 鎌倉生涯学習センターホール

ご来場歓迎　入場無料

鎌倉市民文化祭21©

見つめて、文化。見すえて、未来。

12：45

理事長挨拶

大久保美武

13：00

素謡

賀　茂　木村紀征

川勝暉生

後閑延夫

島野雅子

小山美代子

松岡恵美子

谷口一枝

大山弘子

佐藤峻輔

後藤和司

大久保美武

片山直輝

大林淑

観世流

桜柳会

13：45

仕舞
巻絹（キリ）
小山美代子

後関延夫
北島大靖
相良真士
片山直輝

仕舞
班女
鈴木幸江

中谷哲夫
高橋徹
伊藤武男

観世流
桜柳会

観世流
湘謳会

14：30

素謡
頼政（クリ・サシ・クセ抜キ）
伊藤武男
中谷哲夫

鈴木幸江
木村泰江子
前川鶴子
高橋徹
磯崎洋子
小山美代子

観世流
湘謳会

素謡
江口（クセ抜き）
藤田弘子
菊一翠
高木了二

溝口雄二
後関延夫
松岡恵美子
高木直美

川勝暉生
片山直輝
大林淑
佐藤峻輔
大久保美武

観世流
長謡会

15：15

連吟

善知鳥

鈴木 紀子
大久保勝子
石井 静江

堤 美代子
越後貫 隆
北島 大靖
山口 健二
小林 宏三

観世流白藤会

仕舞

嵐山 平戸 仁英

松風 斉藤千賀子

玉鬘 森 庸一

船橋 御園生佐弥子

森 庸一
長谷川 次入
北島 大靖
平戸 仁英
山口 健二
小林 宏三
常深 渡

観世流白藤会

16：00

素謡

鵜飼

石原 明彦
小川 恵也
佐藤 峻輔

坂東 輝夫
松沢 俊一
北島 大靖
片山 直輝

内藤 孝弘
萩原 健司
舎川 重隆
高木 了二

観世流睦会

連吟

通小町

黒沢 弘美
高木 直美

阿部 麻子
深田 晴美
鈴木 邦子

観世流睦会

16：45

素謡

猩々　磯崎　洋子　佐藤　峻輔

大林　淑
北島　大靖
大久保美武

理事一同

終演予定　十六時五十五分頃

鎌倉謡曲連盟　加盟団体

観世流　桜柳会・湘謳会・長謡会・白謡会・睦会

お問合せ先　理事長　大久保　美武
電話（〇四六七）五三―九七三七

素謡解説

賀茂

播州室の明神に仕える神職が、室の明神と御一体の京都賀茂の社に参詣すると川辺に新しい壇を築き、それに白羽の矢が立てられてあるので、折から水汲みにきた女にその謂れを訊ねると、昔秦の氏女というものが居て、朝夕この川で水を汲んでいたが、ある時川上から白羽の矢が流れてきたので取って帰り、庵の軒にさしておいたところ、思わず、懐妊して男子を生んだが、その子が即ち、別雷の神であって、その母や矢と共に賀茂三所として祀られるようになったのであると語る。そうして女は水を汲んでいたが、やがて自分がその神であると告げて消え失せる。

頼政

諸国遊歴の僧が宇治の里に立寄り景色を眺めていると一人の老人が来たので、この辺の名所旧跡をたずねると、宇治山その他の旧跡を教え、僧を平等院に案内する。ここは源頼政の自害の跡で、今日がその命日。自分は頼政の幽霊であると告げ、消える。旅僧は奇特に思い読経をして弔い、なおそこで仮寝をしていると、甲冑姿の頼政が現れ、治承の夏平家討伐を謀ったが宇治川の要害を破られ、自害をした事を語る。又、僧に回向を乞うて消え失せるのである。

江口

この曲は女能といわれる。それはこの曲の女主人公が、江口の里の遊女でありながら深遠な佛教の哲理を説く。しかもその容姿端麗な美女が実は普賢菩薩の化身であったという思いきった構想によって能楽の究極とする幽玄無常の境地を描き出しているからである。曲の筋の概略は旅僧（ワキ）が江口の里に来て里女（前シテ）実は「江口の君」の化身にあい、歌問答などをした後、船遊びの様や歌舞をして楽しんでいるかと思えば遊女は（後シテ）普賢菩薩と化し、白雲に乗って西の空に消え去るというのである。

鵜飼

禁制を破った漁師の物語で、夢幻能として二つの場面で展開されます。安房・清澄の僧が旅の途中、甲斐国石和川のほとりのお堂に休んでいると、どこからとなく一人の老人が現れて「自分は生計のため鵜を使って魚を獲る漁師だが、禁漁を犯したため、仲間に殺され地獄で苦しんでいる漁師の亡者である」と語り、罪業消滅のため鵜を使って魚を獲る様子を見せ、僧の弔いを願って消え去ります。ここまでが、前の場面。後の場面は、僧が弔いの経を上げていると、地獄の閻魔大王が現れ、「鵜使いが罪を犯したため地獄に落としたが、僧の法華経の功徳で成仏させましょう」として終わります。能では「鵜之段」という見せ所があり、「鵜籠を開き取りいだし…」からがその場面で、謡としても聞き所です。